

# なわて民報

No.1936  
2016.3.11

【発行】  
日本共産党  
四條市委員会  
中野本町4-24  
TEL/FAX  
072-879-5016

四條市議会議員  
岸田 あつこ  
清滝29-1 A-201  
TEL/FAX  
072-803-0303

かんばら泰晴  
北出町27-2  
TEL/FAX  
072-865-2551  
072-865-4610

日本共産党四條市委員会  
は紙面のような企画をしまし  
たのでお知らせします。

## 「ムダ使いをやめ、

## 地域を大切にする条例制定運動」報告

## 2つの条例制定請求署名

## 約4400名分の署名を提出

2月中、四條市で大きな話題となった、条例制定請求署名の運動は、選挙管理委員会にて認定された最終日である2月29日をもって締め切り、名簿の整理と有効の確認などの作業を経て3月4日に提出されました。

有効署名を寄せて頂いた方は「公共建物の長寿命化改修を促進する条例」（以下長寿命化条例）では4469人。「小中学校の廃止の是非に係る校区住民投票条例」（以下住民投票条例）では4392人となりました。

署名運動には、100名以上の方がたが携わり、文字通りの超党派の運動となりました。

## 「近所署名が大きなパワーに

署名運動の大きな力となったのは、署名簿を持って近所や知り合いを回り、署名を頂いた方にも署名集めをお願いするという、輪が広がったことでした。こうした輪の広がりにピラやハンドマイク宣伝の力が大きく働きました。

## 宣伝を聞きつけ署名運動に

運動中、塚米公民館・清滝団地集会所など各地域の公民館などを署名のセンターとして、署名を呼びかけました。ピラ・ハンドマイクなどで呼びかけたところ、「宣伝を

聞いた」「ピラを見た」などとたくさんの方がたが署名に駆け付けてくださいました。

この方々が近所の署名に回るため署名簿を持って帰られ、大慌てで追加の名簿を取って来るという一幕もあり、運動は予想を超えて広がっていきました。

## 授業参観日小学校前で署名宣伝

授業参観日の各学校前や幼稚園前での宣伝署名も行われました。

印鑑は、拇印でも有効です。校門前で足を止めて署名された保護者の方が総計約150名もおられました。

## お詫びと再度の署名のお願い

4400名を超える有効署名を頂いた「長寿命化条例」の署名簿にミスがあり選挙管理委員会では、大阪府選挙管理委員会と協議した結果、署名は無効との判断でした。

このため、署名を一旦取り下げ、再度署名を頂くことに

なりました。

署名にご協力下さった方がたに深くお詫びするとともに、再度のご協力をお願いします。

再度の署名は、3月中旬に頂き、4月はじめには提出できる日程を考えています。

たことは、学校を地域にのこすことに対する関心の高さを示すものでした。

## 「学校残せ」の声は四條市の世論

条例制定請求として成立する署名数は四條市の有権者の50分の1で、約900名分です。

住所・氏名・生年月日・印鑑が必要という、厳格な様式を必要とする署名でありながら、成立数をはるかに超える賛同が寄せられたことは、2条例制定とそれを通じて、強引な学校統廃合を止めよという訴えが、道理のあるものとして、市民の皆さんに受け入れられたものであると示すと確信しています。

## 条例制定に今後とも力を尽くします

上記の通り署名簿にミスがありました。4400名を超える方々のご賛同を頂いた事実には変わりありません。条例制定により学校を残す運動に引き続き力を尽くしてまいります。

## 市民相談会(法律相談含む)

3月16日(水) 午後7時～

市民総合センター

相談をご希望の方は岸田あつこ議員か神原泰晴氏までご連絡をお願いします。



## 今年も お花見

平日のんびり英気をやしなって…

4月1日(金) 昼12:00～

深北緑地公園

参加費 500円

(多少の飲み物をご用意します。)



政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぼ

# しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円  
日曜版●月 823円



日本共産党市会議員  
岸田 あつこ



# 参議院選挙勝利大演説会

3月18日(金) 夕方6時半～

朝潮橋 大阪市中央体育館

(難波の府立体育館ではありません)

忍ヶ丘駅 17:04発 四条畷駅 17:10発

に乗り合わせて参加しましょう。

弁士は  
以下の各氏です  
日本共産党委員長

志位 和夫  
大阪選挙区予定候補

わたなべ結  
参議院議員  
比例予定候補

大門 みきし  
元大阪市長

平松 邦夫  
慶應義塾太字名誉教授

小林 節

夏の参議院選挙でお世話になります

大阪選挙区

比例区

みんなの願いを  
国会に結ぶ

わたなべ結



大門

みきし

党参議院議員3期  
党参議院国対副委員長



## 『戦争法廃止四條畷市民の会』

### 厳寒の2月も署名宣伝活動

#### 『全国2000万人署名』に呼応して

アベ自公政権は、昨年9月19日、国民多数の反対の声と多くの元保守政権の大臣・元最高裁判所長官・元内閣法制局長官・憲法学者などの憲法違反との抗議を無視して、安保法制＝戦争法を数の力により強行成立させました。

その戦争法が3月29日に施行されようとしていま

一方、昨年の戦争法反対の運動の中で生まれた、無数の団体・グループや共産党などの野党・労働組などが「戦争法廃止」「集団的自衛権行使容認の閣議決定を取り消す」の一点で大同回結し「戦争法廃止2000万人署名」に取り組んでいます。「戦争法廃止四條畷市民の会」もこの呼びかけに合流し、2000万人署名を成功させるために頑張っています。

9の日宣伝を継続  
戦争法廃止を訴え  
「市民の会」では、戦争法廃止宣伝を毎月9の付く日に継続して取り組んでいます。場所と時間左表のとおりです。

#### 毎月の日程

9日 畷・忍駅前  
17時半～18時半

19日 楠公通商店街  
10時半～11時半

29日 ダイエー前  
10時半～11時半

※雨の日休みます

2月19日栄通商店街での宣伝署名



#### 憲法改定が参院選の争点に急浮上

アベ首相は、今国会で何度も憲法改定に言及し、自らの首相在任中に改定するとまで言明しています。

その改定の内容は、憲法9条2項の削除と「緊急事態条項」の新設という、日本を戦争する国に造りかえる仕上げともなるものです。

参議院は、憲法改定の発議のために必要な、3分の2の勢力を改憲勢力は占めていませんので、この夏の参議院選挙で、自公と改憲勢力であるおおさか維新で3分の2を取り一気に改憲に突き進む狙いです。

2000万人署名は、アベ政権のねらいを許さず、自公改憲勢力を少数に追い込む野党共闘の国民的土台

#### 憲法の平和主義を学ぼう

このような、憲法と戦争法を巡る状況の中で、憲法の平和主義の大切さを再度学び、2000万人署名を成功させようと、左のような学習会が企画されました。

#### 安保法制＝戦争法そうざらえ学習会

日時:3月19日(土) 午後2時～4時

場所:市民総合センター3階 第4会議室

講師:鮎川信夫さん 立命館大学非常勤講師  
元門真市教職員

主催:新日本婦人の会四條畷支部 共催:戦争法廃止四條畷市民の会